画像処理工学 課題 10(テーマ:画像のエッジ抽出)

15EC082 長澤 清太郎

ぱくたそ(https://www.pakutaso.com/20131048296post-3407.html)よりダウンロードした画像を原画像とする. この画像は縦 450 画像, 横 450 画素による長方形のディジタルカラー画像である.

ORG=imread('cat1.jpg'); % 原画像の入力

ORG = rgb2gray(ORG); colormap(gray); colorbar;

imagesc(ORG); axis image; % 画像の表示

によって、原画像を読み込み、グレースケールに変換し、カラーバーとともに表示した結果を図1に示す。また、関数 imnoise を用いてごま塩ノイズを原画像に追加したものを図2に示す、

ORG = imnoise(ORG, 'salt & pepper', 0.02); % ごま塩ノイズ添付

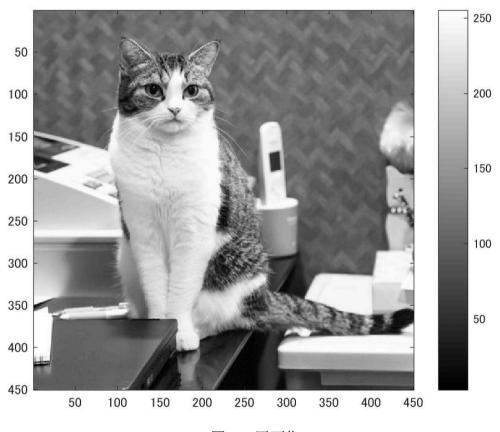
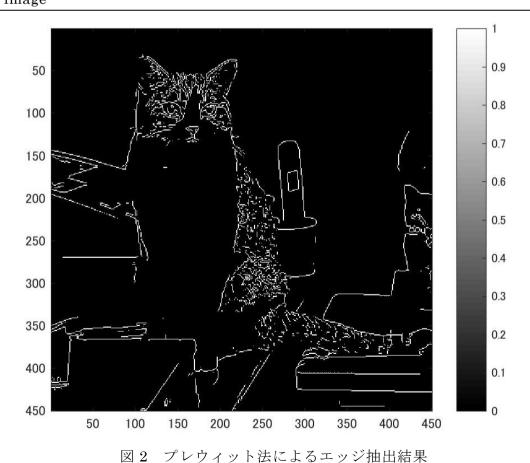


図1 原画像

プレウィット法, ソベル法, キャニー法を用いてエッジ抽出を行う. それぞれの手法は, エッジ抽出を行う関数 edge の 2 つ目の引数で変更する.

プログラムは以下の通りである.また、それぞれの方法でエッジ抽出をおこなった結果を図 2~図 4 に示す.



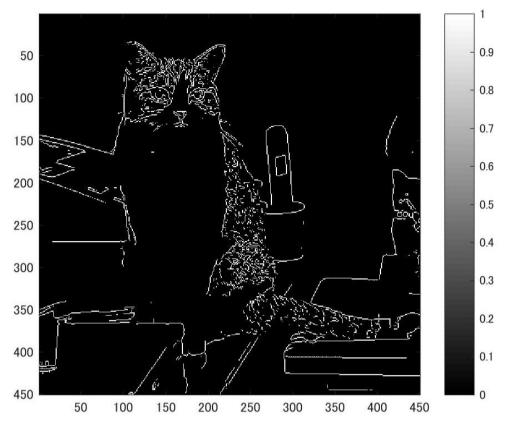


図3 ソベル法によるエッジ抽出結果

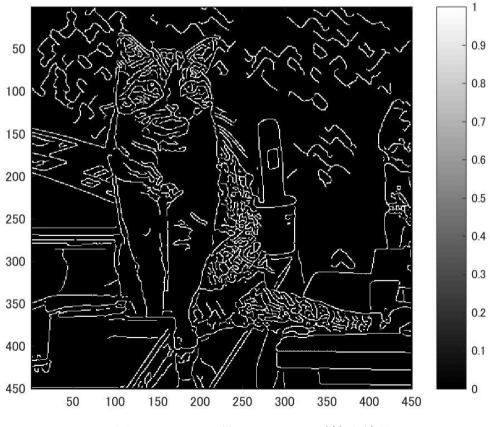


図 4 キャニー法によるエッジ抽出結果

図 $2\sim4$ より、それぞれの方法でエッジ抽出をおこなった結果、プレウィット法とソベル法では類似した結果となり、キャニー法では、他の 2 つの方法と比べて細かくエッジ抽出が行われていることがわかる.